

I 事業要旨

1 事業目的

障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン（平成 29 年 3 月 31 日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）（以下「ガイドライン」という。）に基づく意思決定支援の普及を目的として、ガイドラインを参考に実施している、津久井やまゆり園利用者（以下「利用者」という。）に係る意思決定支援の事例集を作成する。

2 実施状況

(1) 事例集

利用者の意思決定支援の開始からの経過等をまとめた事例（以下「全般事例」という。）の 2 事例、ガイドラインに記載された一つの内容に特化してまとめた事例（以下「場面事例」という。）の 7 事例に加え、県の取組経過等を事例集としてまとめた。

この事例集を作成するに当たり、学識経験者等の有識者等による意思決定支援の取組推進に関する研究検討会（以下「研究検討会」という。）を設置し、利用者の意思決定支援に取り組む中で抽出された課題の整理、津久井やまゆり園利用者意思決定支援チーム（以下「支援チーム」という。）に対するヒアリングの実施、課題解決に向けた検討、事例のまとめ方等について議論するなど、計 4 回開催した。

なお、この事例集については、本研究の目的、方法、公開方法、協力と取り消しの自由、個人情報保護、研修に関する責任者の氏名・連絡先等について本人・家族等に十分に説明し、書面で同意を取った上で作成している。

(2) 津久井やまゆり園利用者意思決定支援チーム向け研修の実施

意思決定支援の取組開始に当たり、立場等が異なるチームメンバーが、その倫理や価値、目的や手続きを共有しておくことが重要となる。そのため、平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「障害者の意思決定支援の効果に関する研究」における「意思決定支援ガイドラインを活用した研修プログラム」をもとに、より実践的な内容にした研修を、一般社団法人日本意思決定支援ネットワークの全面的協力をいただき実施した。

3 津久井やまゆり園利用者に係る意思決定支援の特徴

神奈川県立の障害者支援施設である津久井やまゆり園において、平成 28 年 7 月 26 日、突然の凶行により、19 人のかけがえのない尊い命が奪われ、27 人が負傷するという、大変痛ましい事件（以下「事件」という。）が発生した。

県は、津久井やまゆり園再生基本構想（平成 29 年 10 月神奈川県）（以下「再生基本構想」という。）を策定し、事件によって心身に傷を負った利用者の尊厳の回復を念頭に、利用者一人ひとりには、それぞれに尊重されるべき意思があるという強い姿勢を示す必要があること、また、新施設整備に伴い、令和 3 年度中には現在の仮居住先から転居する必要がある、という極めて特殊な事情のもとで意思決定支援に取り組んでいる。

県の意味決定支援の特徴のひとつは、ガイドラインで規定された、「最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う」とされている最善の利益の検討を行っていないという点にある。

これは、利用者一人ひとりには、それぞれに尊重されるべき意思があるという、再生基本構想の真の実現に向けた利用者の意思決定支援に対する強い決意表明でもある。

II 実施概要

1 研究検討会の開催状況等

(1) 研究検討会委員

(敬称略・五十音順)

| 所属・役職等 | 氏名 |
|--|---------------|
| 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室 虐待防止専門官 | 片桐 公彦 |
| 和泉短期大学 教授 (意思決定支援専門アドバイザー) | 鈴木 敏彦 (座長) |
| 公益社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 統括 | 田中 正博 |
| NPO 法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク 相談役 (意思決定支援専門アドバイザー) | 富岡 貴生 |
| 法テラス埼玉法律事務所 弁護士 | 水島 俊彦 |

(2) 研究検討会の開催状況

| 研究検討会 | 開催日時・会場 | 概要 |
|-------|---|---|
| 第1回 | 令和元年9月2日(月) 19時30分～21時40分 《会場》 神奈川県庁 | 《内容》 ・ 事例の選定 ・ 研究事例のまとめ方、様式の検討 ・ 今後のスケジュール、検討事項、内容等の調整 ・ 研究検討会ワーキンググループ設置 ・ 成果等の公表について 等 |
| 第2回 | 令和2年1月9日(木) 14時30分～18時30分 《会場》 津久井やまゆり園芹が 谷園舎 | 《内容》 ・ 支援チームからのヒアリング ・ 研究事例のまとめ方の確定 ・ 研究事例を通しての意思決定支援における課 題や成果等の整理、課題解決に向けた検討 等 |
| 第3回 | 令和2年2月17日(月) 15時00分～17時00分 《会場》 波止場会館 | 《内容》 ・ 意思決定支援の取組推進に関する研究報告書 (案) について ・ 研修の振り返りについて ・ 成果等の公表について 等 |
| 第4回 | 令和2年2月25日(火) 18時00分～19時30分 《会場》 波止場会館 | 《内容》 ・ 意思決定支援の取組推進に関する研究報告書 について |

(3) 研究検討会ワーキンググループメンバー

この事例集を取りまとめるに当たり、研究検討会委員のうち、鈴木座長及び富岡委員には、ワーキンググループとして、研究事例の選定、研究事例のまとめ方等について、別途検討いただいた。なお、社会福祉法人かながわ共同会津久井やまゆり園芹が谷園舎の押田誠一郎課長には、ワーキンググループにオブザーバーとして参加いただいた。

(4) 研究検討会ワーキンググループの開催状況

| 研究検討会 | 開催日時・会場 |
|-------|---|
| 第1回 | 令和元年9月18日(水) 19時00分～21時00分 《会場》 かながわ県民センター |
| 第2回 | 令和元年10月25日(金) 15時30分～17時00分 《会場》 神奈川県庁第二分庁舎 |
| 第3回 | 令和元年12月3日(火) 15時00分～17時00分 《会場》 神奈川県庁第二分庁舎 |
| 第4回 | 令和2年1月30日(木) 18時00分～19時00分 《会場》 神奈川県庁第二分庁舎 |
| 第5回 | 令和2年2月13日(木) 18時30分～20時00分 《会場》 平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所 |

2 津久井やまゆり園利用者意思決定支援チーム向け研修の実施

支援チームメンバーを対象に、ガイドラインの基本的な考え方である本人中心主義等の理念や価値を支援チームとして理解することを目的に、平成30年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「障害者の意思決定支援の効果に関する研究」における「意思決定支援ガイドラインを活用した研修プログラム」をもとに、一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク（URL：<https://sdm-japan.net/>）の全面的協力をいただき、支援チーム向けにより実践的な内容にした研修（参考資料2）を実施した。

- ・日 時：令和2年1月20日(木) 9時30分～17時15分
- ・講 師：一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク
名川 勝 氏 (代表)、水島 俊彦 氏 (副代表)、本間 奈美 氏 (事務局長)
川田 雪野 氏、福崎 はる 氏
- ・参 加 者：津久井やまゆり園利用者意思決定支援チーム等 50名

3 成果等の公表計画予定

成果等の公表計画予定については、次のとおりとする。

- ・ 厚生労働省のホームページへの掲載
- ・ 県のホームページへの掲載
- ・ 障害福祉情報サービスかながわのホームページへの掲載
- ・ 都道府県、政令市、関係事業所等への成果物の配布 等

